　　自分史エッセイを書こう

☆ねらい

　　自分の幼い頃の思い出を７～１０文の英文で書くことができる。

☆扱う場面

　　・学年　２年

　　・be動詞の過去形や過去進行形、接続詞whenを学習した後の自己表現活動

　　・所要時間　３時間

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| ① 条件作文（接続詞whenを使う）  をノートにたくさん書く。 | ・「私が○才の時、～が好きだった。」など、whenを用いた文をノートにたくさん書かせる。  ・例文を示し、文を書きやすいように指導する。  ・たくさんの文を書くように促す。 |
| ② 自分史エッセイを作ることを  知る。 | ・文化祭展示に向けて、作品を作ることを説明する。  ※幼い頃の写真を一枚用意させておく。 |
| ③ 自分史エッセイ作成のための日本文を書く。 | ・ワークシートの（２）の表を完成させる。 |
| ④ ③の日本文を英文で書く。 | ・書き出しの文を指定し、下書きの英文を書かせる。  ・例文を参考にしながら、５文から１０文の英文を書くよう励ます。  ・生徒の英文を教師が添削をする。 |
| ⑤ 添削後の英文を書く。 | ・ワークシートの（５）に添削後の英文を書かせる。 |
| ⑥ 展示発表用の清書用紙を完成  する。 | ・写真を貼り、自分史エッセイとして１０文程度の英文を別の紙に書かせる。  ・文化祭で展示することを伝え、見やすいように工夫させる。 |